

いのちについて考える日（5月）  
いじめについて考える日

皆さんの命はかけがえのないもの。どの命も大切。

この北中島小学校の421人全員の命が大切。

自分の命も友だちの命も大切にしてほしい。

いじめってどんなこと？

仲間はずれにする、悪口を言う、からかう、たたく、ける、等。

私の経験。地方へ引っ越した時の話。

大阪弁でしゃべる私の姿を見て、周りの友だちが楽しそうに「あんな、あんな・・・」って大阪弁で言ってみてと要求される。頼んでいる方は、全く悪気がなく、親しみを込めているが、言われている本人にしたら、嫌とは言えず、何度も繰り返していた。この話を聞いて、どう思う？

いじめとは、「他の人から、何かを言われたり、されたりしたことで、苦痛やいやな気持ちを感じたら、いじめとなりうる」ということ。良かれと思って言ったことで、相手が苦痛を感じたり、嫌だと思えたりすれば、いじめになってしまうことがあるので、注意が必要。

より良い仲間づくりのために

そこで、自分の言ったことや、やったことがいじめにならないかを考えながら生活することが大切。より良い仲間づくりのポイント。

例えば、友だちに対して自分が言った言葉で、表情が変ったときには、「今の言い方はまずかったかな。嫌な気持ちになったならゴメンね」「うん、いいよ」とお互いに言い合えたらどんなに良いでしょう。

また、毎日の学校生活の中で、「1日に一つは友だちのよい所を見つける」という目当てを持ってほしい。いつも仲良しの友だちだけでなく、同じクラスになってから、まだ話をしていない友だちがいれば、その友だちのよい所を探してみよう。

今日の日を、良い仲間づくりのきっかけに。

各学級の中でも、いじめについて考えよう。